～下記の研究を行います～

『蓄尿結果と関連のある因子や病態の検討ならびに随時尿との関連の検討』

当院では、以下の臨床研究を実施しております。

【研究課題名】蓄尿結果と関連のある因子や病態の検討ならびに随時尿との関連の検討

【研究責任者】楠 康生

【研究の目的】

蓄尿については塩分や摂取蛋白量など推定が可能であり有用とされるが、血液検査と比べて変動することが多くその解釈は困難なことが多い。そこで蓄尿に及ぼす因子として外来や入院での食事療法や薬剤、病態との関連を後ろ向きに検討しまた随時尿との関連も検討する。

【研究の期間】研究許可日～2027 年 12 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2015 年 1 月～2024 年 11 月 3 日までに当院腎臓内科で蓄尿を施行した患者さん

●研究に用いる資料・情報の種類

①患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、血圧、脈拍、身体所見、の採血結果。これらと蓄尿データなど

②疾患情報：病歴、病名

③治療情報や検査データ：食事療法、入院、薬剤治療状況

随時尿（尿定性、尿化学、尿浸透圧、FDP など)、体組成、超音波検査、MRI、CT、ECG、ABI など。また Cr、シスタチン C、BUN、UA、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Alb、TP、T-Chol、TG、HDL-C、LDL-C、CRP、 Amy、リパーゼ、AST、ALT、γGTP、T-Bil、ALP、CK、LDH、HbA1c、空腹時血糖、血ガス、末血など

【研究の資金源】なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（ＣＯＩ(シーオーアイ)：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反はありません。

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

2026 年 5 月 27 日第 7 版

その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター　腎臓内科
〒540-0006　大阪市中央区法円坂 2-1-14
TEL（06）6942-1331（代）
研究責任者　腎臓内科　（科長）（楠　康生）

2026 年 5 月 27 日第 7 版